

第2回大船子育て支援センター及び鎌倉市おさか子どもの家「ひばり」等
指定管理者選定委員会 議事概要

1 日時

令和3年(2021年)10月12日(火) 午前10時から11時まで

2 場所

鎌倉商工会議所 102 会議室

3 出席委員

加藤委員長・松原副委員長・宇高毅委員・大西久子委員・玉置司委員

4 欠席委員

なし

5 事務局出席者

小林(青少年課長)・田中(青少年課青少年担当担当係長)・高橋(青少年課青少年担当職員)

菅原(こども相談課長)・窪寺(こども相談課相談室担当担当係長)

6 協議等内容

(1) 申請書類の審査について

事務局から応募者4団体とも、募集要項に定める応募資格を満たしており、市税滞納がないことを確認していること、鎌倉市暴力団排除条例については確認中であることを報告した。

(2) 公開ヒアリングの実施方法について

事務局:例年、放課後かまくらっ子の指定管理候補者選定に係る第3回の選定委員会時には応募団体名を公開していたが、今回も同様で問題ないか。それとも非公開とした方がよいか。

委員:既に別の放課後かまくらっ子の管理運営を行っている応募団体の場合、応募書類から団体名が推定できるため、非公開にする意味がないのではないか。

委員:これまで私が経験してきた多くの選定委員会では、指定管理候補者が決定するまで団体名は非公開で行ってきた。本来は、公平を期するという点で非公開とすべきではないのか。

委員長:市としての方針はあるのか。

事務局:選定委員会の協議で決めていただく。ただし、委員がおっしゃるように最後

まで非公開とすることが多い。なお、これまでの放課後かまくらっ子の指定管理候補者選定に関しては、第3回の選定委員会時に応募団体名を公開して行っていたため、今回、非公開とするのであれば、社名を伏せて発表するように応募団体に周知を行う。

委員長：非公開とすることについて各委員、異論がないようなので、今回は、応募団体名を非公開として行う。

事務局：ヒアリングの順番について、例年、放課後かまくらっ子の選定に係る第3回指定管理者選定委員会時には、くじ引きにより決定していたが、今回も同様に問題ないか。

また、プレゼンテーションのテーマについては、各委員に事前に説明した通り、委員長、副委員長と協議の上、「乳幼児から就学児童を含めた多世代交流が可能となる居場所として、大船子育て支援センターと放課後かまくらっ子おさかの一体運営をどのように展開していくのか」として決定させていただいた。このテーマを設定した背景は、次代を担う子どもの可能性は無限であり、その可能性を広げるため、大船子育て支援センターと放課後かまくらっ子おさかの役割は大きく、それと同時に管理運営を行う指定管理者の役割も非常に大きなものになると考えており、子育て支援センターと放課後かまくらっ子の運営を任せてよかったと地域住民や利用者を感じられるよう、複合施設でどのようなことができるか、明確なビジョンを持ち合わせ、それを実現させることができる指定管理者が選定できればと考えたからである。

委員：ヒアリングの順番については、応募申請順のほうがよいのではないかと。応募申請順であれば、待ち時間を短縮でき、かつ応募団体同士で鉢合わせる可能性を少なくできる。テーマについては、よいのではないかと。

委員長：各委員、異論がないようなので、今回のヒアリングの順番は応募団体順とする。

事務局：応募団体への質疑について、事務局としては、指定管理候補者の選定にあたり、各応募団体の考えを比較することが可能となるよう、各応募団体に対し共通の質問をしていただきたいと考えている。

委員長：まず、質疑を行う順番については、委員長、玉置委員、宇高委員、大西委員、副委員長という順で実施させていただきたい。委員長は、「管理運営の基本方針（子育て支援センターの運営実績がない事業者については、地域子育て支援拠点事業実施についての考え方含む）」、「乳幼児親子の受入れ」、「アフタースクール」について質疑を行う。玉置委員には、「子育て支援センターの運営」と「地域との連携について」に関わる質問を、宇高委員には、「危機管理体制」や「緊急時の対処法」、「新型コロナウイルス感染症対策等」について質疑をお願いしたい。大西委員は財務が専門のた

め、「財務に関する質疑全般」をお願いしたい。副委員長には、全体を踏まえた質疑として「人材育成」や「スタッフの配置」に係る質疑を中心にお願いしたい。

委員：一点確認だが、応募資格については、地域子育て支援拠点事業と放課後児童健全育成事業のいずれかの事業でも実施していれば申請は可能ということか。

事務局：いずれかの事業を実施していれば応募資格は満たすことになる。

(3) 質問回答書について

3団体より質問があり、既にホームページ上で回答していること、質問内容としては大船子育て支援センターの来所者数やイベントの開催実績等基本的な質問、放課後かまくらっ子の利用実績や光熱水費の年間実績等の質問があったことについて報告した。

(4) 応募団体の財務状況について

応募があった4団体について、大西委員から財務的な問題はないとの報告を受けた。委員長から選定委員の中で財務状況に係る項目について採点基準を合わせたいとの申し出があったため、第3回指定管理者選定委員会時には、実際の採点基準に合わせた説明を大西委員から受けることとした。

(5) 指定管理者に係る採点基準について

採点基準は、全ての採点項目の合計100点のうち、6割を最低基準として実施すること、当日は、応募団体を伏せた採点表を用意し、既に提出されている応募資料と、プレゼンテーション及び質問ヒアリングの内容を総合的に評価し、採点を行うことを確認した。

(6) 第3回大船子育て支援センター及び鎌倉市おさか子どもの家「ひばり」等指定管理者選定委員会日程等について

10月20日(水)午後1時を委員の集合時間とすること、場所は、鎌倉商工会議所で行うこと、プレゼンテーション開始前に30分弱、各委員間で打ち合わせを行うことを決定した。

以上